

シャクナゲ類

概要

和名（科名）	シャクナゲ類（ツツジ科）
別名	石南花、石楠花
英名	Rhododendron
特徴	高山帯にキバナシャクナゲ、亜高山帯にハクサンシャクナゲ、山地帯にツクシシャクナゲ、細葉シャクナゲなどがあり、地域的な変異種が多い。葉は全縁で革質、光沢があり、互生する。花はロート状で5～7裂し、枝先に総状につく。ツツジ属の一グループ。
有毒成分	有毒成分グラヤノトキシン（ロドトキシン）類により中毒を引き起こすので注意。ハクサンシャクナゲの葉のお茶としての飲用による血圧低下の急性中毒例がある。蜂蜜にも注意する。セイヨウシャクナゲなどの園芸種も有毒なので注意。ほかにツツジ科の植物では同様の物質を持つレンゲツツジの毒性が有名。ツツジ科は毒をもつ場合が多く、注意が必要。

毒性

部位	葉	茎	花
毒性	有	有	有
食用の可否	×	×	×

(写真)



セイヨウシャクナゲ



ハクサンシャクナゲ

詳細

1 特徴

一般名	シクナゲ類 (ツツジ属の一グループ)
英名	<i>Rhododendron spp.</i>
学名	<i>Rhododendron spp.</i>
分類	ツツジ目 Ericales、ツツジ科 Ericaceae、ツツジ属 <i>Rhododendron</i>
生育地	北海道～九州
形態	<p>高山帯にキバナシクナゲ、亜高山帯にハクサンシクナゲ、山地帯にツクシシクナゲ、細葉シクナゲなどがあり、地域的な変異種が多い。欧米からの園芸種はセイヨウシクナゲと呼ぶ。葉は全縁で革質、光沢があり、互生する。花はロート状で5～7裂し、枝先に総状につく。</p>

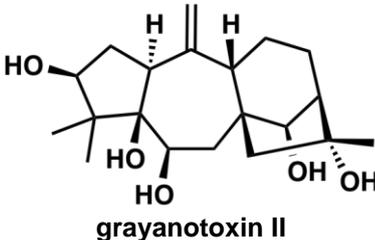


セイヨウシクナゲ



ハクサンシクナゲ

2 毒性成分情報

<p>毒性成分</p>	<p>有毒成分グラヤノトキシン(ロドトキシン)類により中毒を引き起こすので注意。ハクサンシクナゲの葉のお茶としての飲用による血圧低下の急性中毒例がある。セイヨウシクナゲなどの園芸種も有毒なので注意。海外からのお土産の蜂蜜での中毒例がある。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>grayanotoxin II</p> </div>
-------------	--

中毒症状	嘔吐、下痢、けいれん
発生事例	<p>(症例1) 2008年5月12日、北海道の一般家庭で知人から譲り受けたハクサンシャクナゲの葉を乾燥させて、自宅で煎じて冷却した煎液を500mL摂取、知人からは「血圧を下げる効果がある」との説明を受けていた。</p> <p>(症例2) マレーシアから持ち帰った蜂蜜による視覚異常、呼吸困難、歩行困難などの症状で病院に搬送された例がある(2012年に専門誌に投稿された)。</p>
中毒対策	ツツジ科の植物には毒をもつものも多く、蜜にも毒性成分があり、注意が必要。

3 その他の参考になる情報

諸外国での状況	春の蜂蜜による中毒例が各地である。欧米では、 mad honey poisoning と呼ばれる。トルコ黒海沿岸の蜂蜜のツツジ属によるものと報告されている。
その他	<p>シャクナゲはツツジ科ツツジ属の一グループ。他のツツジ類にも注意が必要。特にレンゲツツジは同様にグラヤノトキシン(ロドトキシン)類を含み、欧米では花の蜜を吸った児童や馬、羊などの家畜の中毒が報告されている。</p> <p>シャクナゲ(石楠花)の漢字については、中国で薬用植物とされるバラ科の <i>Photinia serrulata</i> (オオカナメモチ) の中国名(石楠または石南)を間違えて充てたという説がある。</p>